

(中国丙01)  
インフルエンザ  
発生推移  
= 2023年5月度 =

発表: 2023年06月27日 天津CDC

作成: 2023年07月05日  
日中医療衛生情報研究所

# インフルエンザの分類について

- ここには一般の季節性インフルエンザと  
(2013年11月分以後の)H1N1型が含まれている。
- 中国でしか感染者が出ていない  
H5N6や、  
H9N2の患者については、  
界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、  
「その他感染症」に分類されていることが判明しました  
⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>  
の最終パラグラフご参照ください。

# インフルエンザの特徴

2008年からこれを振り返ってみると、

年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大  
コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

2019年12月は1,199,771人

2020年01月は 986,543人

この2か月連続100万人という状況を、  
衛生当局は検査体制の向上によると主張。

これに対し

2020年12月は 23,546人

2021年01月は 20,232人 となった

謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:

'19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは? ...

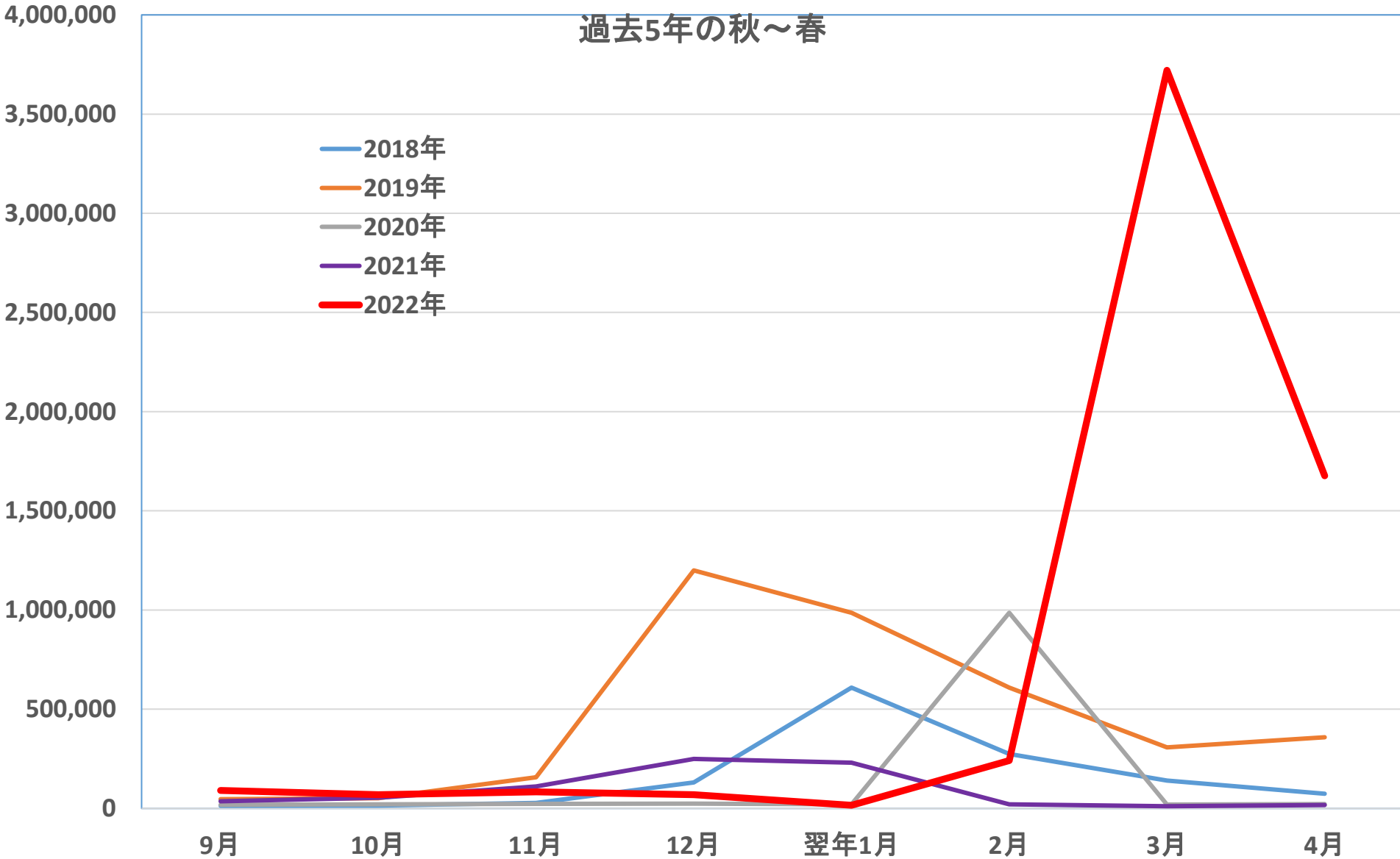
# 突然爆増する中国のインフル

2008年からこれまでの追跡の中では、  
年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が  
大きい、**コロナが見つかる前年12月の爆増以外にも  
単月で突如爆発するケースが増えている:例としては、  
2019年12月に1,199,771人・2020年01月に986,543人、  
2022年6月に747,038人、7月に648,465人となり、  
(双極性を示すことが多い南方での発症者の影響?)  
2023年3月には3,721,370人、4月も1,677,011人と100万人超  
(4か月間累計で5,654,338人とこれまでのどの1年分累計を  
も上回る)**

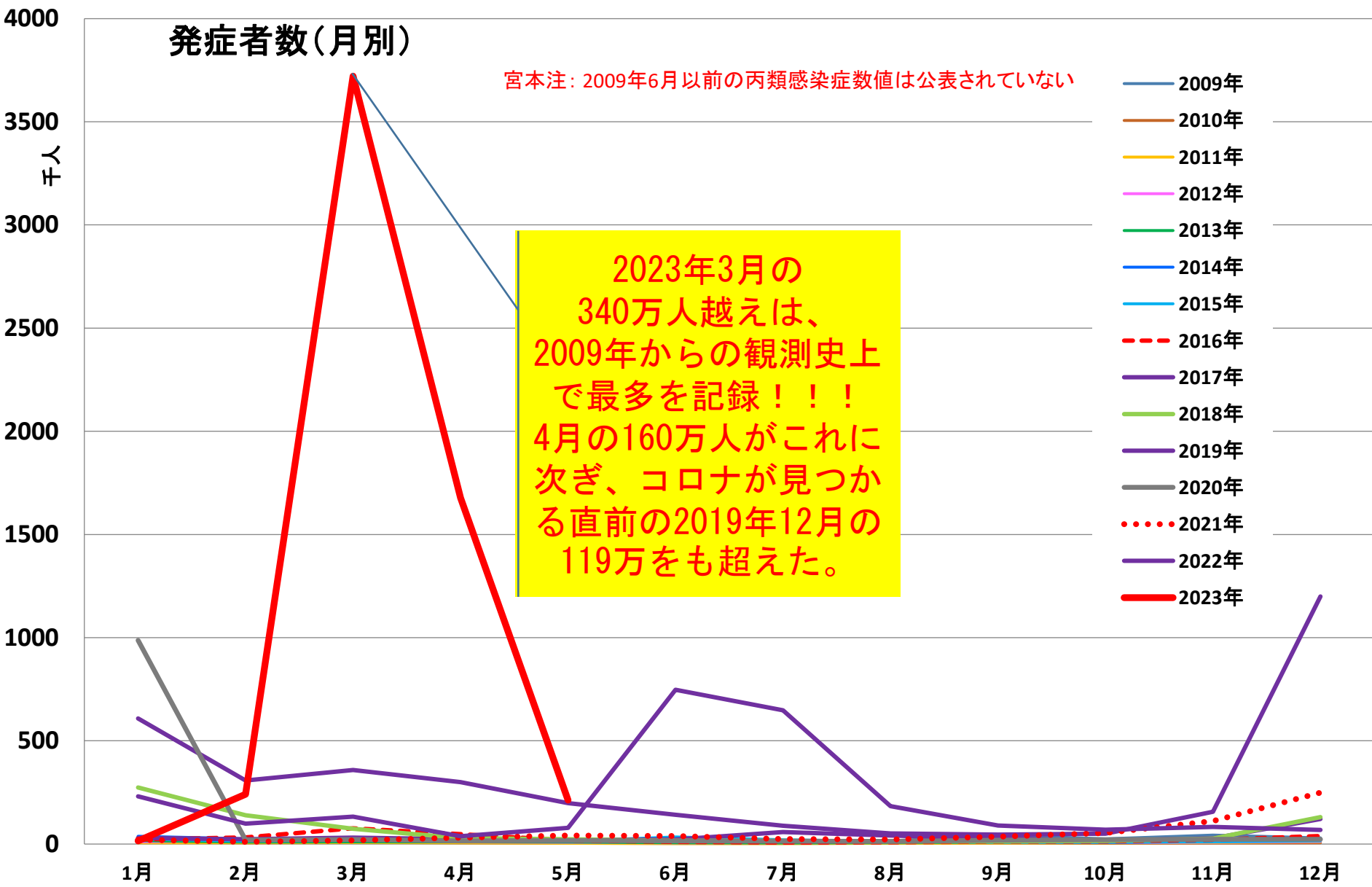
# 丙01：インフルエンザ発症者数（秋～春）

過去5年の秋～春

- 2018年
- 2019年
- 2020年
- 2021年
- 2022年



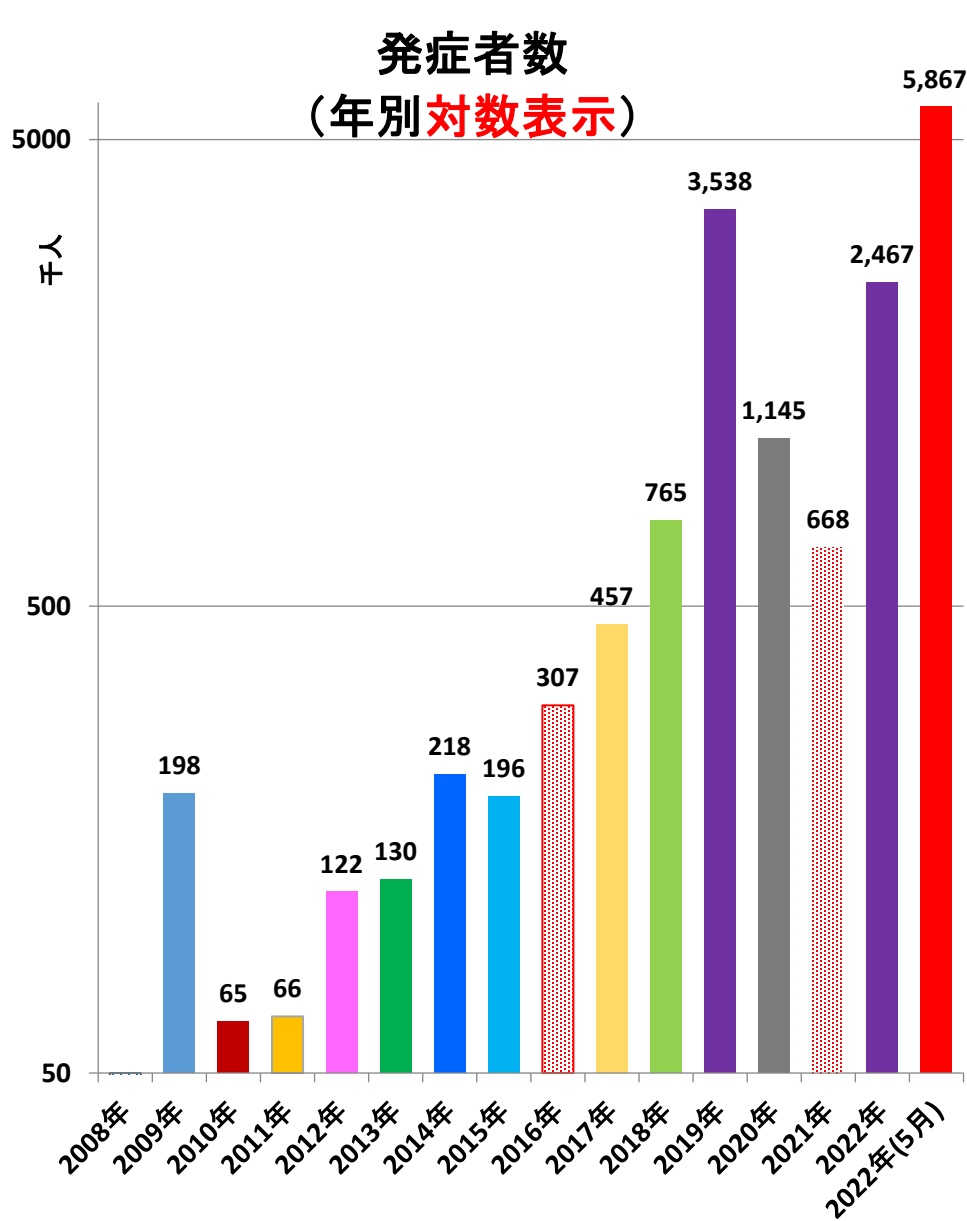
# 丙01：インフルエンザ発症者数





# 丙01：インフルエンザ

発症者数  
(年別対数表示)



死亡者数(年別)

